



発行：秋田県立聴覚支援学校内 きこえとことば支援センター

コミュニケーションスキルの大切さ

11月に第31回東北地区聾学校PTA連合会研修会がオンラインで開催されました。その中で、筑波技術大学名誉教授・元学長の大沼直紀先生による「聴覚障害教育のこれから—私が巡り会えた聴覚障害者のさまざまな生き方を通して—」と題した講演がありました。一部をご紹介します。

学童期に直面する課題

- 聞こえの不確かさや発音の不明瞭さによるコミュニケーションの不全
- 教室の音響環境（SN比や反響）や補聴援助システムの不具合
- 手話通訳や要約筆記による支援の受け入れ方
- 障害の自己理解と聴覚障害についての他者への説明・理解
- 教科学習（特に英語や音楽）でのつまづき

コミュニケーションが円滑に行われるために

自分で解決する力につながる **訂正方略のスキル** を身につけることが大切

- 例) × 「もう一回言って」を何度も言い続ける。
- 相手が言ったことばがそれで正しいか否かを、聞こえた通りに復唱してみる
 - 聞き取れなかった単語の一つ前の単語を、「(聞き取れなかった単語を) ○○？」と質問調で繰り返してみる
 - より具体的に「どんな○○とおっしゃったのですか？」などと質問してみる
 - 「それは別の言い方で言うとうどうなりますか？」などと尋ねてみる
 - 聞き取れなかった単語のつづりを教えてもらう

訂正方略とは、相手の話が聞こえなかったり分からなかったりした場合に、その事態を修復し会話を継続させるためのコミュニケーションスキルの一つです。いつも「もう一回言ってください」ではなく、様々な経験を通して相手の立場や状況に応じた確認の仕方を、身につけさせたいものです。

冬の補聴器管理

◆補聴器に使用する**空気電池**は、乾燥や二酸化炭素に弱く、冬は夏と比べて持ちが短くなります。長持ちさせるには、石油ファンヒーター等を使用している部屋では換気を定期的に行ったり、補聴器から電池を外したときは、空気孔にシールを貼って保管したりしましょう。また、5℃以下になると発電の力が弱まるので、手で温めてから補聴器に入れるとよいでしょう。

◆冬場は暖かい室内と寒い屋外の温度差によって**結露**が起きます。補聴器はチューブに結露が付くと聞こえにくくなったり、故障の原因になったりする場合があります。毎日、補聴器の聞こえを確認し、聞こえが普段と異なるなど不具合にすぐに対応できるようにしておきたいものです。



◆スキー教室など**雪の中での活動**で補聴器を落とすと見つけるのが難しくなります。市販のリテイナー（落下防止器具）を使用するなどの方法で補聴器の落下が防止できます。落下がどうしても心配な場合は、補聴器を外して活動してもよいでしょう。

【冬の補聴器管理】は、バックナンバーや「自立活動だより」でもご覧いただけます。

北の交流会 ～ 11月9日(火)北秋田市交流センター ～

土砂降りの天候でしたが、児童3名、保護者・担当者5名のみなさんが集いました。

はじめの会・レクリエーション

- ◆はじめの会では、自己紹介、そして恒例の「ぼくのすきな□□は△△です。○?×?」の○×ゲームをし、和やかに会が始まりました。
- ◆その後は、すごろくゲームです。「みんなで立ちあがっておじぎをする」「最後の1コマ、ガッツポーズをしよう」などの24枚のカードを広い講堂に並べ、金メダルをかけてゴールを目指しました。マスの内容を見ては、喜んだり、ちょっとがっかりしたりしながら取り組みました。準備も後片付けもみんなでやりました。



保護者情報交換会

本校の聴覚障害教員の小・中学校時代のことをもとに家族との関わり大切さについて、また、秋田魁新聞に掲載された本校高等部2年のJさんの記事をもとに、読書の大切さについて紹介しました。保護者の方からは、「聞こえるように少し大きめの声で話している。」「本人に伝わるよう、口元をしっかりと見せて話すことが大切だと思った。」「得意なことを伸ばしたい。」などのお話がありました。分かるように伝えること、また、本人が分からなかったときは自分から聞き返したり、「○○だよ。」と確認したりすることも、将来的に大事な力になりますね。

南の交流会 ～ 12月2日(木)大曲交流センター ～

児童6名、保護者・担当者11名、合計17名が集まりました。レクリエーションでは、「○×クイズ+ミッションクイズ」を行い、みんなで話し合ったり、ペアが協力し合って活動するなど関わり合う様子が見られました。感想では、「初めて来たけど楽しかった」「去年よりも楽しかった」という声が聞かれ、楽しいひとときを過ごすことができましたようです。保護者会、担当者会では、小学校卒業後についての情報や意見交換など活発な話し合いが行われ、有意義な会となりました。



オンラインによる新たな支援《情報交換ルーム》について

難聴児童生徒を担当されている先生方が悩みや疑問などを気軽に話せる情報交換の場を開設します。初回のご案内は、定期で教育相談を行っている学校の担当者南の交流会に参加した担当者の皆さまのみにご案内をお送りしましたが、難聴児童生徒の担当者の方はどなたでも参加が可能です。



日時：1回目 令和4年1月14日(金) 15:50～16:30 使用オンライン会議：Zoom(予定)

※参加希望やお問い合わせは、下記きこえとことば支援センターまでお願いします。

